



安心してお産を迎えるために

無痛分娩 のご案内

出産の痛みに対する
不安をやわらげ、
あなたらしいお産を
サポートします。



安全への配慮と赤ちゃんへの影響を大切にした医療を提供しています



浅井産婦人科・内科





1 無痛分娩とは

- ・分娩とは、日常生活で経験しないような強い痛みを伴うものです
- ・麻酔により分娩による痛み(産痛)を緩和する医療行為です
- ・お産と赤ちゃんに大きな支障がないようある程度の感覚が残ることが多いです
- ・完全に「無」痛というわけではありません

2 デメリット・リスクについて

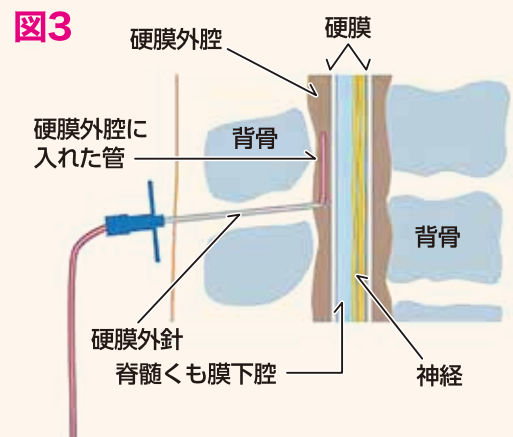
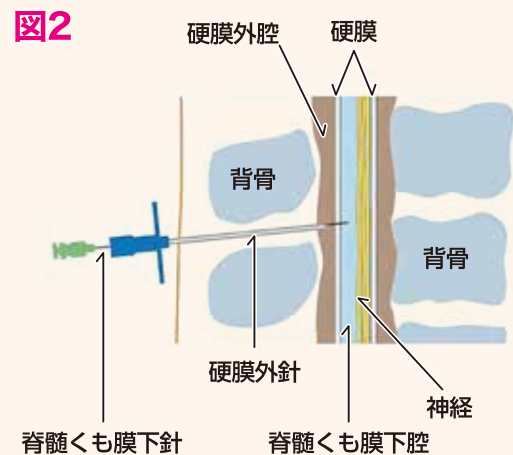
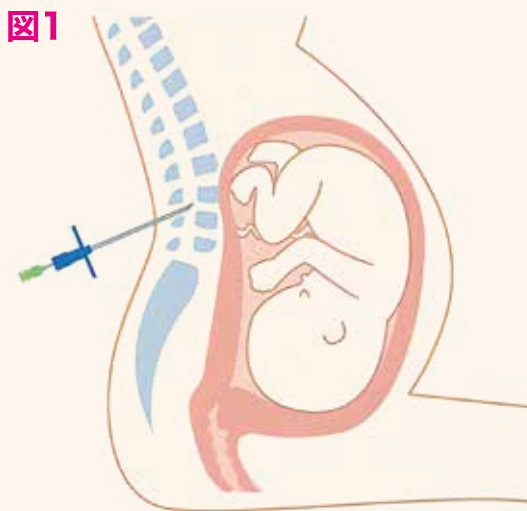
- ・あらゆる医療行為に100%安全はありません
- ・安全面に一番配慮して満足いく無痛分娩を目指します
- ・合併症としては低血圧・痒み・発熱・頭痛などがあります
- ・少ないですが重篤なものとして局所麻酔薬中毒や高位脊髄麻酔があります

3 当院でお受けできない方

- ・リスクの高い方は安全面からお断りさせていただいています
- ・脳や心臓に病気をお持ちの方
- ・神経・筋肉の病気をお持ちの方
- ・血液が固まりにくい病気・薬を使用中的の方
- ・妊娠前のBMIが28以上の方
- ・処置時に安静が保てない方
- ・その他合併症などにより医師が不可能と判断した場合

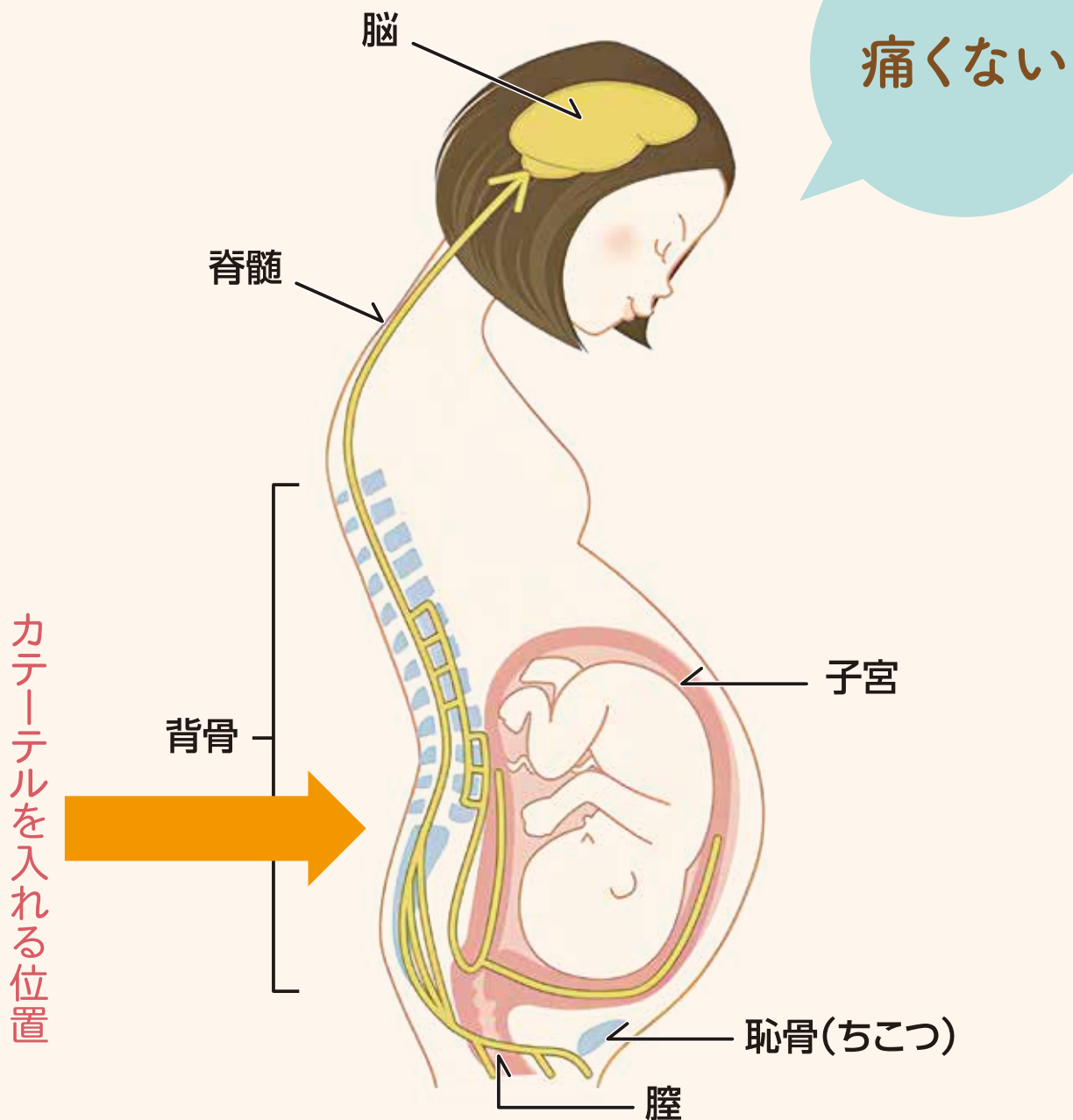
4 当院の無痛分娩の方法

- ・背骨の中にある「脊髄くも膜下腔」と「硬膜外腔」という2つの場所に薬を入れて、お産の痛みを和らげる方法です。
- ・まず、背中に針(硬膜外針)を刺し、「硬膜外腔」という場所まで進めます(図1)。
- ・次に、その針の中にさらにごく細い針を通し、奥の「脊髄くも膜下腔」まで進めて最初の薬を入れます(図2)。
- ・ごく細い針だけを抜き、今度は「硬膜外腔」に細くて柔らかい管(直径1mmくらい)を入れます(図3)。
- ・針をすべて抜き、細くて柔らかい管だけを背中に残します。その後はこの管から薬を追加していきます。



- ・背骨と背骨の間にカテーテルを入れ麻酔の薬を神経に染み込ませます
- ・臍から下に麻酔を効かせ痛みの信号が脳に伝わるのをブロックします

痛みが脳に伝わるのを
ブロック



⑤ 無痛分娩のお産への影響

- ・無痛分娩はお産の進行がゆっくりになります
- ・促進剤使用や吸引分娩が増えます
- ・使用する薬の赤ちゃんへの影響はほとんどありません
- ・無痛分娩で帝王切開は増えません

⑥ いつ無痛分娩をしますか？

- ・基本的に陣痛が始まってからです
- ・経産婦の方は計画分娩も可能です
- ・初産婦の方はお産が進むのを少し待ってからになります

⑦ 費用について

- ・自費診療(15万円)となります
- ・分娩費用(初産婦60万円、経産婦58万円)に追加されます
- ・麻酔の薬が始まった時点で費用が発生します
- ・予約のみは費用は発生しません
- ・枠に限りがあるためキャンセルは早めに教えてください



安心してお産を迎えるために

妊婦さんと赤ちゃんの安全を第一に、
一人ひとりに寄り添った
やさしい医療を提供します。



ご不明な点があれば、お気軽にご相談ください



お電話でのお問い合わせ
088-846-3131
(受付時間 9:00~17:00)



Instagramは
こちらへ



アクセス

高知市一宮東町1丁目7-7
P 駐車場あり



浅井産婦人科・内科

産婦人科・内科・小児科